

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年1月15日～1月21日)

平成 27 年(2015 年)1 月 23 日

H E A D L I N E S

## 政治

コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営再建計画を巡る動き  
 コパチ首相、ウクライナを訪問  
 スヘティナ外相、EU外務理事会に出席  
 コパチ首相、メルケル独首相と電話会談

## 経済

EBRDが2015年のGDP予測を下方修正  
 スイスフラン相場上限撤廃により55万世帯の住宅ローン返済が困難に  
 シレジア地方の再工業化に向けて一経済省  
 12月のインフレ率は-1.0%  
 12月の平均賃金上昇率は3.7%  
 12月の鉱工業生産は8.4%の急増  
 再生可能エネルギー法案が下院を通過  
 政府・KW労働組合が合意  
 タウロン社がKWの炭鉱買収に関心  
 JSW社が労働組合との賃金・福利厚生等の合意を破棄

## 大使館からのお知らせ

シリア邦人拘束事案を受けた注意喚起  
 大使館広報文化センターの開館時間について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

**政 治**  
**内 政**

**コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営再建計画を巡る動き【16日～22日】**

7日にポーランド政府が発表したコンパニア・ヴェングロヴァ社(KW社)の経営再建計画に関し、政府と炭鉱労組との協議が断続的に行われていたが、17日、最終的に協議が合意に至り、コパチ首相同席の下で合意文書への署名が行われた(合意内容については「経済」部分ご参照)。コパチ首相は、今次合意はポーランドの石炭セクターの将来のための健全な妥協である旨述べた。労組側代表は、我々は(当初の計画で)閉山予定であった炭鉱を救うことができた旨述べた。これを受けて、同日まで継続・拡大

していた炭鉱労働者によるストライキ及びシロンスク地方の各都市における抗議活動は収束した。

19日、カルピンスキ国有財産相及びコシニャク＝カミシュ労働・社会政策相は記者会見を行い、今次合意は人々、雇用、エネルギー安全保障に資する良い妥協であった、石炭セクターを収益性がある形に改革することは重要である旨述べた。

これに関連し、16日、下院は、KW社の再建計画を可能とする炭鉱関連法の修正法案を可決した。同法案は、上院の修正を経た上で、22日に下院で再度通過した。

**外交・安全保障**

**コパチ首相、ウクライナを訪問【19日】**

19日、コパチ首相が多数の閣僚を同行させる形でキエフを訪問し、ポロシェンコ大統領及びヤツェニウク首相と会談した。コパチ首相は、キエフにて、ウクライナに対する最大1億ユーロの借款支援、ウクライナ改革支援調整担当全権の任免方針、地方自治、規制緩和、汚職対策等の分野におけるポーランドの知見の共有、ポーランド産石炭をウクライナに輸出するための協議の実施等の具体的なウクライナ支援の措置・方針を発表した。

議論に参加した。同理事会は、対露関係に関し、EUが対露政策を変更しないこと、如何なる新しい対話フォーマットも設けないことに合意した。

**コパチ首相、メルケル独首相と電話会談【21日】**

21日、コパチ首相はメルケル独首相と電話会談を行い、独による最低賃金に関する新しい法律の発効後のポーランド輸送業界の状況につき協議した。コパチ首相は、ポーランドは独の新しい法律がEU法、特に域内市場に関する規則に適合しているかにつき疑問を抱いている旨述べた。2015年1月に発効した独の最低賃金に関する法律によると、独の最低賃金(8.5ユーロ)が同国領域内における全ての輸送業に適用されることとなっている。

**スヘティナ外相、EU外務理事会に出席【19日】**

19日、スヘティナ外相はブリュッセルでのEU外務理事会に出席し、ウクライナ情勢、対露関係、テロとの闘い及びEU域内におけるテロの脅威等に関する

**経 済**

**経済・財政政策**

**EBRDが2015年のGDP予測を下方修正【19日】**

欧州復興開発銀行(EBRD)は、2015年の経済成長率予測を、前回9月の3.3%から3.0%に下方修正した。また、2014年を3.2%としている。なお、現在国会で審議されている2015年予算案は年間GDP成長率3.2%を想定している。他にもロシアの経済成長率を-0.2%から-4.8%に、ウクライナを-3.0%から-5.0%に大幅に下方修正している。

帯の負債総額が1,550億ズロチにまで膨らみ、1世帯あたりの平均負債額は28万1,000ズロチとなった。スイスフラン建てローン保有者の60%は年収を越す額を借用していたが、ズロチ建て住宅ローンを組んだ場合と比較して、90%負債額が大きくなった。2007年末までに44,200人が40年以上のスイスフラン建てローンを組んでいたところ、そのうち3割強は担保物件を超える額となり、18万戸の物件は売却によるローン完済が不可能となった。

**スイスフラン相場上限撤廃により55万世帯の住宅ローン返済が困難に【19日】**

スイス国立銀行が1ユーロ=1.20に設定していたスイスフランの相場上限を撤廃したことにより、スイスフラン建て住宅ローンを組む約180万人、55万世

**シレジア地方の再工業化に向けて一経済省【21日】**

ポーランド南部シレジア地方の再工業化に関し、ピエホチンスキ副首相兼経済大臣は、政府は地方自治体と協力しつつ、将来有望なセクターを基本的に同地域の開発を進めると述べている。この件に関し、

経済省アントニシン＝クリク次官は、炭鉱の開発も十分認識しつつも、対象として今後30～40年後に有望な産業、そのほか、労働集約的なものに限らず最先端の技術で自動化された産業、下請けへの波及効果の大きい産業や資源・エネルギーの高度化に

関連する産業も候補にあがるだろう、と述べている。さらに、同次官はカトヴィツエSEZの拡大とそのためEU基金の申請や鉱山跡地の活用について他のEU諸国の知恵を借りたいとも述べている。

## マクロ経済動向・統計

### 12月のインフレ率は－1.0%【15日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の消費者物価指数(CPI)は、前年同月比で11月の同－0.6%より更に低下した－1.0%となった。前月比でも11月の同－0.2%より低下した－0.3%。引き続き食料品の価格が低下しており前年同月比で－3.5%。12月はさらに公共交通費も同－6.5%、衣類も同－5.0%と低下が著しい。他方、コア・インフレ率は、前年同月比で11月の同0.4%増から上昇した0.5%増、前月比では11月の同0.0%増から変わらず同水準となっている。

### 12月の平均賃金上昇率は3.7%【20日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の平均賃金は

前年同月比3.7%増、前月比9.4%増となる4,379.26ズロチであった。雇用者数は、前年同月比1.1%増となる554万9,100人となっている。

### 12月の鉱工業生産は8.4%の急増【21日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の鉱工業生産は前年同月比で11月の同0.3%増から更に増加した8.4%増となっている。前月比でも11月の同7.5%減から増加した2.3%増。季節調整後の数値は、前年同月比5.3%増、前月比2.3%。ユーロ圏での家電等の需要が回復しているほか、12月は就業日数が多く、また暖冬のため生産性が高かったことが理由として挙げられている。

## エネルギー・環境

### 再生可能エネルギー法案が下院を通過【16日】

16日、ポーランド下院(Sejm)は、再生可能エネルギー導入支援のための法案を可決した。法案は上院に送られ審議されている。今回の法案の最大の改正点は、オークションシステムの導入である。これにより、政府は約70億ズロチの予算を節約することができるという。

### 政府・KW労働組合が合意【17日】

17日、経済省コヴァルチク副大臣とコンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社労働組合は、KW社の経営再建に関する合意文書に署名した。署名はコパチ首相、カルピンスキ国有財産大臣及びコシニャク＝カミシュ労働大臣立ち会いの下行われた。合意文書には、今月7日に発表された政府の経営再建策で廃鉱が予定されていた4炭鉱を特別管理会社(SRK)に分割・移行するとともに、残りの炭鉱・関連事業所をヴェングロコクス社の設立する「新KW」に移行すること等が盛り込まれている。新KWの設立は今月9月30日までに行うこととされている。

### タウロン社がKWの炭鉱買収に関心【19日】

タウロン社は、コンパニア・ヴェングロヴァ社の保有する鉱山で、特別管理会社(SRK)に移管されるBrzeszcze炭鉱の買収に関心を寄せており、今後同炭鉱の買収に関する分析を行い、最終的な判断をしていくこととなるという。同社は既に2つの炭鉱を保有しており、6,000人以上を雇用している。

### JSW社が労働組合との賃金・福利厚生等の合意を破棄【20日】

大手炭鉱企業のJastrzebska Coal Company(JSW)社は賃金上昇や福利厚生等に関し労働組合との間で2011年～2012年に締結した3件の合意を破棄することを決定した。経営環境が悪化する中、雇用を維持し、政府の石炭政策にも沿った形で運営するための措置とされており、JSW社の経営部門は、労働者に対し解雇や廃鉱の予定はなく、賃金の支払いにも問題がないと通知している。あわせて、ボーナスの支払いを分割払いにすることや各種福利厚生手当の支払い延期も通知している。

## 大使館からのお知らせ

### シリア邦人拘束事案を受けた注意喚起

1月20日、イスラム過激組織のISIL(イラク・レバントのイスラム国)を名乗る人物がインターネット上で、シリアで行方不明となっていた日本人と見られる人物2名の殺害を予告する等の映像を発売しました。

詳細につきましては、下記のリンク先の「シリア邦人拘束事案を受けた注意喚起」をご参照下さい。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C019>

### **大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【11月30日(日)～5月18日(月)】**

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/26>

### **【予定】講演会「日本人とショパン」【1月23日(金)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、社会学者博士柴田恭子氏による講演『日本人とショパン』が開催されます。講演はポーランド語で行われます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### **【予定】オープン新極真「CARPATHIA CUP 2015」【1月31日(土)】**

ジェシュフ市にて、ジェシュフ武道クラブ「システム」主催による空手選手権大会『オープン新極真「CARPATHIA CUP 2015」』が開催されます。

開催場所: ジェシュフ市, Rzeszow University of Technology's Sports Hall, ul. Poznanska 2A

詳細: [www.carpathia.org.pl](http://www.carpathia.org.pl)

### **【予定】水曜映画上映会「言の葉の庭」と「星の声」【1月28日(水)17:30～】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「言の葉の庭」と「星の声」が開催されます(日本語音声, 英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### **【予定】チャリティーピアノコンサート【2月7日(土)】**

ワルシャワ市にて、日本人アーティストによるチャリティーピアノコンサートが開催されます。

開催場所: ワルシャワ市, I Zbor Kosciola Chrzciscijan Baptystow, ul. Walicow 25

### **【予定】ロジカル・エモーション—日本現代美術展【2月13日(金)～4月26日(日)】**

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催されます。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されます。

開催場所：クラクフ、クラクフ現代美術館、ul. Lipowa 4

詳細：<http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

#### **皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

#### **【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)